

項目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	NO	3-1
事業名	やまがた木育推進事業		
事業費	2,815 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

### 1 目的

県民の豊かな緑を育む意識の醸成のためには、直接的な保全活動への支援と併せて、県民の森林等に対する理解の向上が不可欠である。このため、「森や自然の大切さを学び、森や木の文化を見つめ直し、森や自然の恵みに感謝し、自然との共生の文化を理解・共感できる豊かな心を育み、森との絆を深め、暮らしの中に木を活かしていくこと」を「やまがた木育」と定め、森からの恩恵を受けるのみではなく、一人ひとりが森と共に生きていることや、木を活かす暮らしの大切さを改めて理解し、行動を起こすことができる人づくりを目指す。

### 2 事業概要

- (1) やまがた木育推進委員会の開催  
学識経験者や森林環境教育実践者などから必要なアドバイスや意見をもらう。
- (2) 子どもの成長に合わせたやまがた木育の推進  
やまがた木育推進委員会や教育関係者の意見を参考に年齢に応じた教材の提供及び実践。
  - ① 未就学児向け
    - ・「木育絵本」の配布
  - ② 小学校低学年向け
    - ・「木育ブック」の配布・実践
    - ・「木育クラフト」の配布・実践
  - ③ 小学校高学年向け
    - ・副教材「やまがたの森林」、指導者用ガイドブックの作成・提供
    - ・ポケット版教材「森のたんけん手帳」
- (3) 県民みんなでやまがた木育の推進  
やまがた木育の指導者を養成するやまがた木育人材養成講座【スタートアップ】を2回開催する。

### 3 成果と課題

#### 【成果】

- (1) やまがた木育推進委員会の開催 (10/17)
- (2) 子どもの成長に合わせたやまがた木育の推進
  - ① 未就学児向け
    - ・「木育絵本もりはすごいなあ」を300部作成し、3月に配布。  
(配布先：県立及び各市町村立図書館等)
  - ② 小学校低学年向け
    - ・「やまがた木育ブック」を990部作成し、実践。
    - ・「木製スプーンづくりキット」の640個作成し、実践。  
(放課後児童クラブ、飯豊少年自然の家、青年林業士等スキルアップ研修等で活用。)
  - ③ 小学校高学年向け
    - ・副教材「やまがたの森林」を10,080部、指導者用ガイドブックを1,030部作成し、11月に配布。(配布先：県内全ての小学5年生、指導者用ガイドブックは県内全小学校指導者)
    - ・ポケット版教材「森のたんけん手帳」を4,670部作成し、9月に配布。  
(配布先：県内小学校、森づくり活動団体等)
- (3) 県民みんなでやまがた木育の推進  
やまがた木育人材養成講座【スタートアップ】の開催 (7/28、8/4)

#### 【課題】

県民の豊かな緑を育む意識の醸成のため、やまがた木育の推進が必要である。副教材について、教育関係者の意見を参考により使いやすい内容に修正していく必要がある。

## やまがた緑環境税を活用した取組み 【令和元年度 やまがた木育推進事業の取組事例】

### やまがた木育人材養成講座【スタートアップ】の開催

令和元年7月28日(日) 県立農林大学校 緑風館(新庄市角沢)

8月4日(日) 源流の森(飯豊町須郷)



木製スプーンづくり



葉っぱを使ったプログラム

### やまがた木育の実践とその指導

○飯豊少年自然の家「ボランティアセミナー」 (実践の指導)

令和元年5月11日(土) 飯豊少年自然の家



森のたんけん手帳の解説  
(森のスケッチ)



森のたんけん手帳の解説  
(森の色さがし)

○放課後児童クラブでの実践

令和元年8月7日(水) 学童保育レインボー、レインボーなないろ



やまがた木育ブックの活用



木製スプーンづくり

## やまがた緑環境税を活用した取組み

### 【令和元年度 やまがた木育推進事業の取組事例】

#### やまがた木育推進委員会の開催

○令和元年10月17日（木） 県庁1001会議室



やまがた木育推進委員会  
の様子



委員長 今村哲史 委員

#### 教材の提供

○木育絵本もりはすごいなあ（未就学児向け）



○やまがた木育ブック、木製スプーンづくりキット（小学校低学年向け）



○副教材・ガイドブック、森のたんけん手帳（小学校高学年向け）



項目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	NO	3-2
----	------------------	----	-----

事業名	みどりの循環県民活動推進事業		
事業費	13,618 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

### 1 目的

#### (1) みどりの循環県民活動の推進

植樹や間伐、木製品や木質バイオマスエネルギーの利用など「森を守り、育て、暮らしに活かす緑の循環システム」を体験できるメニューにより、森と暮らしのつながりを感じる取組みを年間を通して進めていく。

#### (2) やまがた緑環境税の普及啓発

やまがた緑環境税に関する普及啓発を実施する。

### 2 事業概要

#### (1) みどりの循環県民活動の推進

- ・ 「やまがた森の感謝祭2019」の開催（6/1 酒田市 山形県眺海の森）
- ・ 地区感謝祭の開催
  - 村山 9/28 秋葉山（朝日町）
  - 最上 10/5 舟形若あゆ温泉（舟形町）
  - 置賜 9/28 南陽市総合公園（南陽市）
- ・ 森のホームステイ事業
  - 竹ポット苗づくり（5月～2月）
  - 植樹 ・ やまがた森の感謝祭2019（酒田市山形県眺海の森）6/1
  - ・ ニッサンの森【Asahi】（朝日町）10/6
- ・ 木工体験会 10/19～20 庄内森とみどりのフェスティバル2019（鶴岡会場）、山形県林業まつり  
10/26～27 庄内森とみどりのフェイスティバル2019（酒田会場）、やまがた環境展2019  
その他、森の感謝祭、地域感謝祭などで実施
- ・ 森づくりリレーの実施（6月～3月）

#### (2) やまがた緑環境税の普及啓発

- ・ 新聞広告、フリーペーパー広告によるPR
- ・ モンテディオ山形、山形ワイヴァンズのマッチデープログラム広告掲載
- ・ ラジオCMを活用したPR
- ・ シンボルマーク入りコースター、やまがた緑環境税名称入りクリアファイル等の作成
- ・ 県広報媒体を活用した広報・周知
  - 「やまがたサンデー5（YBC）」（9/15放送）、「森林やまがた」
- ・ 山形県林業まつりでのPR（10/19～20）
- ・ やまがた環境展2019でのPR（10/26～10/27）
- ・ 県内公共施設等や大型ショッピングモールでの展示・PR
- ・ 広報誌「もりしあ」の発行・配布（B5判 年2回、20,000部/回）

### 3 成果と課題

#### 【成果】

- (1) 森と暮らしのつながりを感じる体験イベントに、多くの県民の方に参加していただき、森づくりの大切さを実感してもらえた。
- (2) 広報誌「もりしあ」を発行し、やまがた緑環境税の趣旨や活用事業をわかりやすく紹介することで、県民に対して広く普及啓発することができた。

#### 【課題・対応】

市町村等と連携しながら各種イベント、広報媒体、パネル展、普及啓発物品の活用などを組み合わせて実施することで、やまがた緑環境税の周知を図る。

## やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和元年みどりの循環県民活動推進事業の取組み事例】

### やまがた森の感謝祭と各地域の森の感謝祭



みどりの循環利用推進宣言



記念植樹

- |                 |       |              |
|-----------------|-------|--------------|
| ▲やまがた森の感謝祭 2019 | 6月1日  | 山形県眺海の森（酒田市） |
| ▲村山地域森の感謝祭      | 9月28日 | 秋葉山（朝日町）     |
| ▲最上地域森の感謝祭      | 10月5日 | 舟形若あゆ温泉（舟形町） |
| ▲置賜地域森の感謝祭      | 9月28日 | 南陽市総合公園（南陽市） |

### みどりの循環県民活動推進事業

#### 森を守り・育てる

#### 暮らしに活かす



林業祭り



やまがた環境展

- 木工体験会
  - ・山形県林業まつり（10月19日～20日）
  - ・やまがた環境展 2019（10月26日～27日）
  - ・庄内森とみどりのフェスティバル 2019  
鶴岡会場（10月19日～20日）  
酒田会場（10月26日～27日）
- その他、森の感謝祭、地域感謝祭などで実施

### 森のホームステイの実施



- ▲普及啓発  
コースター等の作成・配布
- ▲普及啓発  
広報誌「もりしあ」の発行

▲森のホームステイ  
森で採取したどんぐりや稚樹を家庭や学校、職場などで2年間育ててもらい、再び森にかえす活動です。



### 森づくりリレー旗の交付



▲森づくりリレー  
やまがた森の感謝祭 2019 をスタートに、県内各地の森づくり活動をつないでいます。

項目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	NO	3-3
----	------------------	----	-----

事業名	やまがた山水百景魅力アップ事業		
事業費	1,145 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

### 1 目的

平成28年度に県民や市町村の推薦を得ながら選定した「やまがた百名山」について、その認知度向上のためにPRする広報資料を作成し、広く配布するもの。

### 2 事業概要

- ・ これまで、やまがた百名山全座を知るための広報資料がなかったことから、全座を網羅する「やまがた百名山」探訪マップ(見開きB1判サイズのポスター型を折りこんでB5判仕上げ)を20,000部作成。
- ・ 作成した「やまがた百名山」探訪マップは県庁や総合支庁、市町村役場や道の駅、スポーツ店などで広く配布するほか、「やまがた百名山」県内巡回写真展や、仙台市内・首都圏で開催した写真展でも配布。
- ・ 探訪マップには「やまがた百名山」の県全体における位置、所在地や標高、登山難易度を示すグレーディング情報等を掲載し、知らない人に「やまがた百名山」を知って貰うことを主目的に作成した。このマップで百名山に興味を持って貰い、より詳しい情報は県山岳情報ポータルサイト「やまがた山」や、H30年4月に民間出版社から発売されたガイドブックから入手するような役割分担とした。
- ・ 山と森林は密接な関わりがあることから、探訪マップの裏面にやまがた緑環境税の仕組みや用途について紹介するスペースを取り、その普及啓発も併せておこなった。

### 3 成果と課題

#### 【成果】

- ・ 令和元年度末には在庫がほぼなくなるほど大好評を博しており、やまがた緑環境税を多くの方々に周知することができた。

#### 【課題・対応】

- ・ 令和2年度については、さらに多くの方々に手に取っていただけるよう、マップの掲載内容を更新して充実させていく。
- ・ 山岳情報ポータルサイト「やまがた山」等の各種媒体でPRし、やまがた緑環境税のさらなる周知を図る。

やまがた緑環境税を活用した取組み  
【令和元年度やまがた山水百景魅力アップ事業取組事例】



(表面)

(裏面：やまがた緑環境税のPR)



配布イメージ (やまがた環境展での例)